

減災及び防災を推進するための広報・啓発事業

市民や事業者の皆様への平時における確実かつ的確な広報・啓発事業は、災害発生時の命を守る行動を起こしていただくためにも重要なものです。

いざというときに、どの様な手段で災害情報を入手すれば良いのか、また、どの様な避難行動を取れば良いのか、ご家族、ご近所、職場の同僚など、それぞれの場所において、お互い助け合いながら行動していただくことが、被害軽減化、すなわち減災につながります。

1 減災及び防災を推進するための広報・啓発の取組

(1) 広報よこはま《総務局 危機管理課》

広報よこはまで、例年6月号、9月号、3月号の年3回風水害や震災の発生に対する備えといった内容で広報・啓発をしています。

本年6月号は、「大雨への備え」として、市が発出する避難情報の意味や避難行動についての記事を掲載しました。

9月号は、地震火災や風水害への備えについて掲載予定です。



(広報よこはま 平成30年6月号)

| 発行回数 | 市民への周知方法 | 発行部数 |
|------|-----------------------|--------|
| 月1回 | ・全戸配布 ・区役所等での配架・配布 | 約157万部 |

(2) ホームページやテレビ・ラジオ等を活用した広報・啓発《総務局 危機管理室全課》

横浜市のホームページでは、様々な気象情報や河川水位情報などの災害情報のみならず、市民や事業者の皆様が自助・共助を行っていただく上で役立つ情報や各種ハザードマップなど防災の地図も掲載しています。

また、テレビ・ラジオの各種メディアも活用して減災・防災情報をアナウンスするなど広報・啓発を実施しています。

【ホームページ掲載項目・内容】

| 項目 | 掲載内容 |
|------------|---|
| 防災情報 | ・災害情報（横浜市の警報・注意報、気象情報、河川水位情報） ・ライフライン・生活情報 ・交通情報 等 |
| わが家の対策（自助） | ・地震被害想定 ・家具の転倒防止 ・感震ブレーカーの設置 ・台風・大雨への備えについて ・洪水・内水・土砂災害ハザードマップ 等 |
| 地域の対策（共助） | ・地域の対策 ・町の防災組織 ・横浜防災ライセンス ・「地域防災拠点」開設運営マニュアル 等 |
| 市の対策（公助） | ・町の防災組織活動補助金 ・被災者支援に関する各種制度の概要 ・備蓄食料品の原材料一覧 等 |

| | |
|---------|--|
| 計画・条例など | ・横浜市危機管理指針 ・横浜市防災計画 ・横浜市の国民保護 等 |
| 防災の地図 | ・わいわい防災マップ ・地震マップ ・液状化マップ ・津波避難施設 ・地域防災拠点 ・広域避難場所 ・高潮警戒区域図 等 |
| パンフレット | ・わが家の地震対策 ・災害時一斉帰宅の抑制 ・災害時のペット対策 ・津波からの避難に関するガイドライン ・土砂災害啓発チラシ ・多言語防災リーフレット ・防災よこはま・ヨコハマの「減災」アイデア集 等 |
| 研修・イベント | ・横浜市総合防災訓練 ・防センアカデミー ・防災・減災推進研修 等 |

【テレビ・ラジオ平成 29 年度放送実績】

| 放送媒体 | 放送局 | 放送月 | 広報啓発内容 |
|------|-------------------|-----|------------------|
| テレビ | テレビ神奈川 | 9月 | 備蓄方法や防災グッズ |
| | ケーブルテレビ (市内全局) | 6月 | 水害への備え |
| | | 9月 | 自助・共助 |
| ラジオ | FMヨコハマ | 9月 | 横浜市民防災センターでの防災体験 |
| | RFラジオ日本 | 9月 | 自助・共助 |
| | インターFM (外国語放送) | 9月 | 日ごろの備え、発災時の行動 |

(3) ハザードマップ（広報印刷物）《総務局・環境創造局・建築局》

ハザードマップは、身の回りの災害リスクを知り、いざという時の迅速な避難につながるため、大雨等による洪水や内水、土砂災害等の被害の予測を地図上に表したものです。

【洪水ハザードマップ】《総務局 情報技術課》

洪水ハザードマップは、河川の増水や堤防の決壊等により氾濫した場合の洪水浸水想定区域のほか、避難勧告等の説明や避難場所、日ごろの心構えや情報の入手方法などを掲載したマップです。

なお、平成 27 年の水防法改正により、想定しうる最大規模の降雨により河川が氾濫した場合の洪水浸水想定区域が、河川の水系ごとに順次公表されていますので、これにあわせて改訂しています。

| 作成年度 | 市民への周知方法 | 作成部数 |
|-----------------|---|---------|
| 平成 29 年度 | [鶴見川水系、多摩川水系【改訂版】] * 流域 6 区(鶴見、神奈川、港北、緑、青葉、都筑区) ・洪水浸水想定区域内の全世帯、事業所に戸別配付 ・区役所での配架・配布 ・市ホームページに掲載 | 約 33 万部 |
| 平成 19 ~22 年度 | [帷子川、境川、大岡川、宮川・侍従川水系] ・区役所での配架・配布 ・市ホームページに掲載 | |

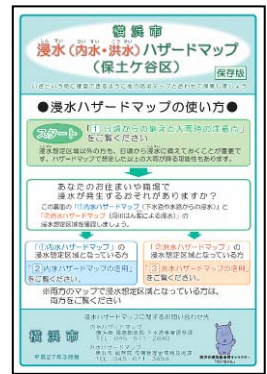


【H29 改訂版】

【内水ハザードマップ】《環境創造局 下水道事業マネジメント課》

内水ハザードマップは、市街地に降った雨で下水道管や水路などから内水があふれ、浸水が想定される区域や浸水する深さなどの様々な情報をまとめたマップです。

| 作成年度 | 市民への周知方法 | 累計作成部数 |
|----------|---|---------|
| 平成 25 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 区役所での配架、配布 市民情報センターでの配架 地元説明会での配布 家庭防災員研修等での配布 | 約 30 万部 |



【土砂災害ハザードマップ】《建築局 建築防災課》

土砂災害ハザードマップは、梅雨時期の集中豪雨や台風に伴う豪雨などにより、土砂災害が発生した場合に被害がおよぶおそれのある区域（土砂災害警戒区域など）を示しています。

| 作成年度 | 市民への周知方法 | 累計作成部数 |
|----------|--|----------|
| 平成 26 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 全戸配布 区役所での配架、配布 | 約 175 万部 |



(4) 防災よこはま《総務局 危機管理課》

「防災よこはま」は、横浜市における地域防災・減災活動の基本的かつ統一的なテキストとして平成 28 年度に作成したものです。

地域防災の担い手を育成する「防災・減災推進研修」の教材とするほか、地域の皆様が教えあい、学びあう際の資料としての活用を図っています。

その他、危機管理室が実施している研修テキストとして利用するほか、区役所における地域での啓発などで利用する際に配布しています。



| 作成年度 | 市民への周知方法 | 累計作成部数 |
|----------|---|---------|
| 平成 28 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 区役所、消防署、横浜市民防災センターに配架 各種研修での配布 | 約 25 万部 |

(5) 防災タウンページ《総務局 危機管理課》

平成 27 年度から NTT タウンページ (株) との協定に基づき、協力して本市の地震防災情報を集めた『防災タウンページ』を作成し、毎年度全戸配布を行っています。

| 作成年度 | 市民への周知方法 | 作成部数 |
|----------|--|----------|
| 平成 29 年度 | <ul style="list-style-type: none"> 全戸配布 | 約 180 万部 |



(出典：NTTタウンページ発行 防災タウンページ)

(6) まちの安心・安全につながる横浜の「減災」アイデア集《総務局 危機管理課》

地域が主体となって進める防災活動の支援を行うため、地域の特性に合わせた取組を進めている「町の防災組織」の活動事例をまとめた事例集を平成 28 年 3 月に発行しました。

「町の防災組織」2,900 団体に配布したほか、研修テキストとして利用しています。



| 作成年度 | 市民への周知方法 | 累計作成部数 |
|----------|----------------------------|--------|
| 平成 27 年度 | ・町の防災組織への配布 ・区役所での配架、配布 | 約 2 万部 |

(7) 横浜防災フェア《総務局 危機管理課》

例年、8 月最終土曜日・日曜日、赤レンガ倉庫イベント広場において、(株)アール・エフ・ラジオ日本とともに子どもから大人まで楽しみながら防災について学んでいただけるイベントとして実施しています。

防災に関するパネル展示・防災関係車両の展示の他、赤レンガパーク前海上において、ヘリコプターによる水難救助訓練等も実施しています。

【平成 30 年度実施概要】

| | |
|------|--|
| 日時 | 平成 30 年 8 月 25 日 (土) 10 時 30 分から 17 時 26 日 (日) 10 時 30 分から 17 時 |
| 場所 | 横浜赤レンガ倉庫イベント広場 |
| 主催 | 横浜市、株式会社アール・エフ・ラジオ日本 |
| 来場者数 | 約 7 万人 |
| 主な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・防災に関するパネル展示 ・防災関係車両等の展示 ・横浜市消防音楽隊による演奏 ・ステージイベント ・防災関係事業者等によるブース出展 ・消防艇、消防船による放水訓練 |

(8) 横浜市民防災センターにおける防災イベントの開催《消防局 横浜市民防災センター》

横浜市民防災センターでは、「防セン SUMMER フェスティバル」や「救急消防フェア」など、幅広い世代の方々が防災について、より興味や関心をもっていただけるイベントを実施しています。

| 実施年度 | イベント数 | 来場者数 |
|----------|-------|------------|
| 平成 28 年度 | 24 回 | 約 21,000 名 |
| 平成 29 年度 | 45 回 | 約 35,000 名 |

(9) 秋・春の火災予防運動週間における防火・防災イベント

《消防局 予防課・消防局 18 消防署》

防火に関する内容のほか、「防災指導車 (起震車) による地震体験」、「東日本大震災時写真パネル及び感震ブレーカー (デモンストレーション機) の展示」などを実施しています。(参考に一覧添付)

その他当該期間以外においても、各消防署による防火・防災イベントを実施しています。

2 減災及び防災を推進するための研修・講演会の取組

(1) 防災・減災推進研修《総務局 危機管理課》

ア 防災・減災推進研修

自治会町内会を中心とした「町の防災組織」のメンバーの方が受講者ご自身の地域で、自助・共助の重要性について、広報・啓発していただくことなどを目的としています。

地域防災力の向上につなげていくため、“基礎編”“支援編”“応用編”という3種類の研修を実施し、防災・減災に関する知識等を学んでいただきます。

【基礎編】

町の防災組織の中で活動されている方々などに、防災・減災に関する知識や、先進的な取組事例を学んでいただきます。

【支援編】

基礎編の受講者が研修で学んだことをもとに、安全マップ作成などを地域で実践する際にアドバイザーを派遣し、地域での取組を支援する研修です。

【応用編】

基礎編の受講者を対象に、地域の防災リーダーとして地域での防災の取組を進めていただくため、組織運営のノウハウや、習得したことを地域に広めるための方法について学ぶ研修です。

【防災・減災推進研修実績】

| | 基礎編 | 支援編 | 応用編 |
|----------|-------|------|-------|
| 平成 28 年度 | 482 名 | 8 回 | 195 名 |
| 平成 29 年度 | 500 名 | 19 回 | 102 名 |

イ 事例発表会“講演会”《総務局 危機管理課》

防災・減災推進研修を受講した町の防災組織などから活動事例の発表を行っていただく『事例発表会』を毎年2、3月頃に開催しています。

また、この事例発表会と合わせて、防災・減災推進をテーマとした講演会も実施し、地域が主体となって進める防災活動を支援しています。



【事例発表会“講演会”実績】

| | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|-------|-----------------------------------|---|------------------------------------|
| 実施日 | 平成 28 年 3 月 5 日 | 平成 29 年 2 月 18 日 | 平成 30 年 2 月 17 日 |
| 実施場所 | 鶴見大学記念会館 | 神奈川公会堂 | 開港記念会館 |
| 参加人数 | 391 名 | 436 名 | 400 名 |
| 発表団体数 | 5 団体 | 5 団体 | 4 団体 |
| 講演会講師 | 大木 聖子氏 慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 | 矢守 克也氏 京都大学防災研究所 巨大災害研究センター 教授・センター長 | 室崎 益輝氏 兵庫県立大学院減災復興 政策研究科長・教授 |

※講演会講師の略歴にあつては講演実施時のものです。

(2) 防センアカデミー《総務局 危機管理課・消防局 横浜市民防災センター》

ア 防センアカデミー

市民一人ひとりが、日頃から防災について学び対策や備えをしておくことで、災害時に適切な防災・減災行動につなげていただくことを目的に、研修を実施しています。

防災に関する6つのテーマについて、座学やグループワーク等を通し参加者が自ら考え話し合いながら学ぶ講座を、総務局危機管理課と消防局横浜市民防災センターが共管で実施しています。

【平成29年度実績】

| | 地震火災 対策 | 大雨等 対策 | マンション の地震対策 | 要援護者 支援 | わが家の 災害対策 | 女性の視点を 入れた防災活動 | 計 |
|---------|------------|-----------|----------------|------------|--------------|-------------------|------|
| 1回(11月) | 13名 | 10名 | 20名 | 38名 | 31名 | 16名 | 128名 |
| 2回(1月) | 15名 | 18名 | 17名 | 23名 | 18名 | 30名 | 121名 |
| 3回(3月) | 18名 | 17名 | 24名 | 15名 | 20名 | 42名 | 136名 |
| 計 | 46名 | 45名 | 61名 | 76名 | 69名 | 88名 | 385名 |

イ 防センアカデミー“特別篇”

通常の防センアカデミーの規模を拡大して、防災について学ぶことのできる研修を特別篇として実施しています。

平成29年度は、小・中学生と保護者を対象に、災害発生時の自助と共助をアトラクションに参加しながら学ぶことができる「防災アトラクション」を実施しました。

初めての実施でしたが、大変好評でしたので、3月に2回目を実施しました。

【平成29年度実績】

| | 実施日 | 実施場所 | 内容 | 実施回数 | 参加 人数 |
|-----|------------|----------------|--|--------|----------|
| 第1回 | 平成29年9月23日 | 横浜市民 防災センター | ・想定外の自然災害が発生し、災害現場から脱出する ・家族や仲間同士が協力し合いながら様々なミッションクリア | 80分×3回 | 522名 |
| 第2回 | 平成30年3月24日 | | | | 485名 |

(3) 地域の防災担い手育成事業《総務局 危機管理課》

総務局危機管理課が予算を配付し、区役所が自助・共助の重要性を啓発する事業や地域の実状に合わせた研修や講演会等を実施しています。

【平成29年度実績】

| 事業名 | 主な実施内容 |
|-------------------|---|
| 横浜市民防災センターを活用した事業 | ・防災センターを活用した研修、体験ツアー、イベント等 |
| 防災フェアの開催 | ・備蓄品の紹介や避難生活の体験等 ・防災講演会と屋内型啓発ブースを併合した減災フェア |
| 次世代に対する減災教育の実施 | ・地域における防災を担う人材育成や、各家庭における「自助」の取組の啓発 ・親子向け防災講演会 |

| | |
|---------------|------------------------------------|
| 防災における出前講座の実施 | ・小学生を対象にした防災トランプの出前講座 ・防災まち歩き支援 |
| 防災講演会 | ・区民の防災・減災知識及び意識の向上を図る講演会 |

(4) 家庭防災員制度《消防局 予防課》

自助から始まり地域防災の担い手にもつなげる研修制度として、一人でも多くの市民が防災に関し、必要な知識及び技術を身につけることを目的に研修を実施しています。

【平成 29 年度研修カリキュラム及び実績】

| 項目 | 研修内容 | 参加人数 |
|---------------------------|---|---------|
| 防火研修 | ・住宅防火対策（出火防止など） ・通報と避難 ・初期消火 | 2,810名 |
| 救急研修 | ・応急手当（止血法・骨折時の処置など） ・救命処置要領（AEDを含めた心肺蘇生法） ・予防救急 | 2,679名 |
| 地震研修 | ・地震の知識 ・地震への備えとその対応 ・地震の事例と教訓 | 2,665名 |
| 風水害研修 | ・風水害、土砂災害の知識 ・風水害、土砂災害への備えとその対応 ・風水害、土砂災害の事例と教訓 | 2,745名 |
| 災害図上訓練 （DIG・ディグ） 研修 | ・参加者が地図に情報を書き込み、防災対策を検討する訓練 | 2,581名 |
| スキルアップ研修 | ・防災講演会や防災マップ作成など、各区の実情や家庭防災員の要望に応じたステップアップのための研修 | 1,487名 |
| 合計（延べ） | | 14,967名 |

(5) 横浜市民防災センターにおける自助・共助プログラムの実施

《消防局 横浜市民防災センター》

横浜市民防災センターをリニューアルした平成 28 年度から自助・共助プログラムとして、地震、風水害といった自然災害や火災を疑似体験できる体験ツアー及び応急救護救出訓練、放水訓練、要援護者体験、段ボールベッド取扱い、各種ワークショップなどの体験プログラムを実施しています。

| 実施年度 | 自助共助プログラム修了者 |
|----------|--------------|
| 平成 28 年度 | 68,384 名 |
| 平成 29 年度 | 46,325 名 |

3 防災教育の取組

(1) 消防局で企画する小学校、中学校における防災教育事業《消防局 予防課》

ア お出かけ防災教室

主に小学校4年生を対象に、火災をはじめ、地震など災害からの自己対応能力の向上を目的として、消防職員が各小学校に出向き社会科授業などを活用した防災授業を行っています。

【実施状況】

| | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|--|-----------------|----------|
| 実施校数 | 296 校 | 301 校 |
| 市内小学校数 353 校 内訳：市立 (341 校) 国立又は私立 (12 校) | 市内の約 85%の小学校で実施 | |
| 受講児童数 | 29,004 名 | 28,482 名 |

イ わくわく消防体験塾

主に小学校高学年を対象に、防災教育のスキルアップと子どもの自主性を育てる場として、子ども防火衣装着体験や、煙体験、消火器取扱訓練など体験型の内容による学びの場を提供するもので、消防署が主体となり実施しています。

【証の交付】 参加修了者に「証」を授与

【実施状況】

| | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|------|----------|----------|
| 実施回数 | 23 回 | 32 回 |
| 参加者数 | 2,612 名 | 6,301 名 |

ウ 中学生に対する防災啓発

中学校における防災訓練のほか、地域防災の担い手として活躍していただけるよう啓発を行っています。具体的には、消防署への職業体験授業などを捉え、防災に関する基礎知識や、初期消火器具の取扱訓練などを実施しています。

また、消防署と中学校が協力して、心肺蘇生法や、ロープ結索、救出・救護方法など体験型の訓練を実施し、知識・技術を習得していただけるような取組も行っています。

【実施状況】

| | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 |
|-------|----------|----------|
| 実施学校数 | 63 校 | 65 校 |
| 受講生徒数 | 1,009 名 | 559 名 |

(2) 教育委員会・学校で企画する小学校、中学校における防災教育事業

《教育委員会事務局 指導企画課》

ア 学校ごとの取組

各学校では、児童生徒が、火災、地震、津波、風水害等、様々な災害発生時に、適切な避難行動をとることができるように避難訓練を実施しています。避難訓練にあたっては、実施前に訓練の意義を学んだり、実施後には行動について振り返ったりすることなど、学習の段階に応じて自助・共助についても教えています。

また、多くの小学校（※）では、大規模地震発生時の保護者引き渡し訓練も実施し、非常時の行動について、児童だけではなく保護者にも伝わるようにしています。

※ 平成 29 年度は 336 校で保護者引き渡し訓練を実施



【保護者と一緒に避難訓練】



【引き渡し訓練】

イ 学校安全研修の開催

全ての学校の安全担当教諭等が参加する「学校安全研修」を毎年度 3 回実施しています。防災の専門家による講演を行ったり、HUG（避難所運営ゲーム）体験などの演習を行ったりすることを通じて、学校間で共通理解を深めています。

また、学校安全教育推進校を委嘱し、地域と協働した避難訓練等の授業を公開しています。公開授業の参加者は、必ず、授業内容を自分の学校の全職員で共有し、それぞれの学校での防災教育に役立てています。

【学校安全研修の実施状況】

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|------|---|---|--|---|
| 内容 | <ul style="list-style-type: none"> 文科省調査官講演 風水害ワークショップ 推進校実践報告 | <ul style="list-style-type: none"> 大学教授講演(防災) 横浜市民防災センター見学 推進校実践報告 | <ul style="list-style-type: none"> 文科省調査官講演 HUG 体験 推進校授業公開、実践報告 | <ul style="list-style-type: none"> 道路局講演(交通安全) 横浜市民防災センター見学(予定) 推進校授業公開、実践報告(予定) |
| 参加校数 | 全校（校長・副校長・安全担当のいずれかが参加） | | | |

学校安全教育推進校

| 年度 | 平成 27 年度 | 平成 28 年度 | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 |
|----|----------|----------|----------|------------|
| 校数 | 12 校 | 12 校 | 10 校 | 8 校（8 月現在） |



【市民防災センターの体験】



【推進校の報告会】



【地域防災訓練】

《参考》

区独自の減災及び防災を推進するための広報・啓発の取組（平成 29 年度）

18 区で取り組まれているもの

| 取組内容 | 主な取組み |
|--------------------|--|
| 防災マップの印刷・配布 | 地域防災拠点や広域避難場所等の避難場所、土砂災害警戒区域等の情報を記載する他に、情報面には、地震が起きた時の適切な行動や風水害対策等を掲載し、区民の皆様への基本的な防災知識の普及を目指したもの。 転入者セットへの封入、区窓口に配架・配布などを行っている。 |
| 区防災計画の策定・配布 | 横浜市防災計画に基づき策定している区防災計画を防災関係機関や拠点委員長等に配布、活用 |
| 広報よこはま（区版）の啓発・特集記事 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性に合わせて防災活動を実施されている自治会町内会の事例を紹介 ・災害時要援護者支援についての自治会町内会における取り組みを紹介 ・防災特集として日頃からの備えや避難場所、区で配布のリーフレットなどを紹介 ・コラムとして身近な防災対策について定期的に紹介 ・災害時に地域をサポートする防災関係団体を紹介 ・地域防災拠点訓練の参加について啓発する記事を掲載 |

複数区で取り組まれているもの

| 取組内容 | 取組区 | 主な取組み |
|----------------------------|------------------------------|--|
| 小・中学生向け防災ガイドの作成・配布 | 神奈川、西、南、港南、保土ヶ谷、磯子 | <ul style="list-style-type: none"> ・日頃からの地震への備え、発災時に自分ができる行動、自助・共助の大切さを学べるように小・中学生向けに作成 ・防災教育を推進するためのツールとして活用 ・リーフレットやクリアファイル、生徒手帳に収納など区ごとに工夫 |
| 自助・共助啓発用チラシなどの作成・配布 | 神奈川、西、南、保土ヶ谷、港北、栄 | <ul style="list-style-type: none"> ・感震ブレーカー設置補助、家具転倒防止器具補助等の案内 ・自助・共助啓発回覧板を作成し、自治会町内会へ配布 ・防災啓発イベントなどで使用 ・啓発物品（ホイッスル付ライトペン） |
| 食料備蓄等の啓発 | 西、港南、金沢、青葉、都筑、戸塚 | <ul style="list-style-type: none"> ・食料備蓄、ローリングストックのリーフレットや展示用パネルを作成 ・保存食等を使ったレシピの紹介 ・イベントや講座などで説明・配布 |
| 災害時ペット対策 | 鶴見、神奈川、西、南、港南、磯子、金沢、青葉、都筑、戸塚 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時におけるペット対策の啓発 ・区独自のガイドラインを作成 ・注意点や持ち出しリストなどを記載したペット手帳を作成 |
| 多言語化対応 | 中、南、瀬谷 | <ul style="list-style-type: none"> ・やさしい日本語で記載した地震についての資料作成 ・多言語版の地域防災拠点地図の作成・配布 ・多言語に対応した防災冊子の作成 |
| 地域 FM、地域 CATV を活用した啓発番組・広告 | 港南、保土ヶ谷、青葉、戸塚、栄 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域 FM での地域向けの防災・減災に役立つ情報を紹介 ・CATV で減災運動推進大会のスポット広告を放映 |

| | | |
|---------------------|--------------|--|
| SNSやアプリを活用した防災情報の提供 | 西、南、港南、港北、青葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に活用できる情報をスマートフォンやタブレットから閲覧可能 ・コミュニティFMのラジオ放送聴取と、区HPの閲覧ができ、気象警報や緊急情報を3段階のプッシュ通知にて配信 ・気象警報の発表や、避難勧告等の発令、詐欺などの防犯被害の注意喚起、災害時医療の関係や防災イベント情報をメールで広報 ・ツイッターによる情報発信 |
| 災害時要援護者支援 | 鶴見、南、港南 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿情報取扱者に証明書を交付 ・災害時要援護者への支援を区民の皆様へ啓発するため、障害者団体等と連携しパンフレットを作成 ・災害時要援護者支援に取組む自治会・町内会に支援活動に役立つ物品を提供 |
| 災害医療体制の周知 | 鶴見、神奈川、南、青葉 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時医療体制のチラシを作成し、配布 ・区災害医療訓練について参加する機関・団体だけでなく、区民に周知 ・自治会町内会での配布・回覧 |
| Yナースの募集案内 | 南、金沢、青葉、瀬谷 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の医療救護活動を支援いただくYナースの登録を促進するためHPに案内を掲載 ・区民の皆様への災害時支援ナースの周知及びYナースの募集のためチラシの作成し、配布 |

その他、各区独自の取組

| 区・課 | 事業名 | 取組内容 | 広報・啓発方法 |
|-----|--------------|--|--|
| 港南区 | 災害時の対応ブック | 連絡先や避難場所を記入でき、また保育園内と家庭で心がける豆知識が記載されたポケットサイズのパンフレットを保護者向けに配布 | 各種イベントで配布 |
| 金沢区 | 防災えんづくり通信の発行 | 災害医療に関する防災情報や訓練状況をニュースペーパーにまとめ、防災情報の共有や参加意欲向上を目的に発行 | <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に配架 ・医療機関等への送付 ・町内会に1部ずつ配布・回覧など |
| 金沢区 | かなざわ強助隊チラシ | 大震災が発生したときに、地域を助けていただく災害時協力事業所制度の紹介と登録依頼 | <ul style="list-style-type: none"> ・窓口に配架 ・拠点連絡用議会で配布 ・各イベントで配布 |
| 泉区 | 安否確認グッズ | 発災後の迅速な安否確認の取組を支援するため、取組方法に応じた安否確認グッズを作成し、配布 | <ul style="list-style-type: none"> ・区連会を通して全自治会町内会へグッズ作成について周知 ・安否確認の仕組みづくりを検討・導入する自治会町内会からの要望に応じて実施 |

平成 29 年秋の火災予防運動週間の防火・防災イベント

| 所属名 | 行事等の名称 | 実施概要 |
|------|----------------------------------|---|
| 消防局 | 第 100 回住宅防火防災推進シンポジウム&消防ふれあいフェア | <p>■シンポジウム 基調講演 菅原進一氏(日本大学大学院教授) ダニエル・カールの防災がんばっぺ パネルディスカッション</p> <p>■消防ふれあいフェア はしご搭乗体験、消防車・救急車電動カー体験、救助体験、放水体験、救急服・防火衣装着体験、音楽隊による演奏・ドリル演技・南消防団音楽隊による合唱、熊本の物産販売、社会福祉施設・団体による物品販売、後援の各種防火防災関係団体や横浜市の行政ブース (■神奈川県消防署こども防災キャラバン同時開催)</p> |
| 鶴見 | 防火・防災講演会 | <p>■「防火・防災講演会」 講師：リスクウォッチ 長谷川 祐子氏 「災害国 日本の自助と共助」と題し、自治会・町内会の会長及び防災担当者、鶴見区内の事業所防災担当者、鶴見区家庭防災員、鶴見区老人クラブ連合会会員等を対象により一層の防火・防災意識の高揚を図ることを目的として実施 ：横浜市消防音楽隊演奏</p> |
| 神奈川 | こども防災キャラバン | ■スタンプラリー形式で、お子様が楽しみながら防災について学べるイベントを、消防局予防課、横浜市民防災センターと共催で開催 |
| 西 | 平成 29 年 秋の火災予防運動「119 番の日」 キャンペーン | ■西消防署と消防局司令課が連携し、的確な 119 番通報や火災予防に関する広報を実施。模擬の 119 番通報体験やDVDの視聴などのコーナーを開設 |
| 中 | 平成 29 年秋の火災予防運動 防災イベント | <p>■飲食店からの出火を想定した消防訓練(警防 1 課、伊勢佐木消防団)</p> <p>■火災予防運動啓発広報(住宅用火災警報器設置促進広報含む)</p> <p>■起震車による地震体験</p> <p>■救急車両展示(CPR 展示説明・予防救急広報)</p> |
| 南 | 南消防署「出火防止キャンペーン」 | <p>■横浜市立横浜商業高等学校吹奏楽部演奏</p> <p>■住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理広報</p> <p>■出火防止ちらし及び啓発物品の配布</p> <p>■消防団員の募集</p> |
| 港南 | 特別養護老人ホーム 消防総合訓練 | <p>■消防隊、消防団による連携訓練</p> <p>■施設職員、近隣施設職員、町内会住民を交えた避難誘導訓練</p> |
| 保土ヶ谷 | 駅頭広報 | ■地域(消防団、家庭防災員)、事業所(火災予防協会)及び行政(消防署)が一体となった火災予防の啓発、広報活動等を実施。 |

| | | |
|----|---------------------------|--|
| 旭 | 駅頭広報 | <p>秋の火災予防運動の初日である9日に相鉄線鶴ヶ峰駅の駅頭において、通勤・通学途上の区民に対して、火災予防意識の一層の普及啓発を図るため、地元町内会、旭火災予防協会及び旭区自衛消防隊連絡協議会各会員とともに駅頭広報を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広報用ティッシュの配布 ■ のぼり・横断幕の提出 |
| 磯子 | 秋の防災フェア | <ul style="list-style-type: none"> ■ 駅頭広報（京急杉田駅にて実施） ■ 予防広報（啓発用チラシ・ティッシュの配布） ■ 子供防火衣体験 ■ 住宅用火災警報器 住宅用消火器 感震ブレーカーの展示 ■ 防災クイズ ガチャガチャコーナー |
| 金沢 | 「消防フェア」 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 秋の火災予防運動期間中、多くの来場者が見込まれる複合型テーマパーク内において、消防音楽隊と金沢消防署の共催で、放火火災防止対策、住宅用火災警報器の設置及び維持管理の促進等、火災予防対策の一層の推進を図るため広報活動を実施 |
| 港北 | 減災行動展 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 水消火器での初期消火体験 ■ 防災・救急指導（三角巾、心肺蘇生法、搬送法等） ■ 煙体験 ■ 避難所体験（避難区画、簡易トイレ展示、ペット指導員説明） ■ 子供防火衣体験 ■ 非常用持出物品展示 ■ 転倒防止物品展示 ■ 地震体験 ■ 消防車型バッテリーカーの展示 |
| 緑 | 駅頭及び街頭広報 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅用火災警報器の展示、設置促進パンフレット配布 ■ 住宅防火診断パンフレット配布 ■ 感震ブレーカーの展示 ■ Si センサーコンロ普及促進パンフレット配布 ■ 火災予防啓発品の配布 ■ 横浜市民防災センターの利用促進 ■ 消防団員の募集 |
| 青葉 | ミニ防災相談・体験会 | <p>買い物途中などに立ち寄り、防災に関する相談や、短時間の体験（心肺蘇生法）ができる「防災相談・体験会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 感震ブレーカー ■ 非常用備蓄品の展示や、心肺蘇生法の体験 ■ 消防音楽隊の演奏など ■ 消防団員の募集広報 |
| 都筑 | 都筑消防署 「出火防止 キャンペーン」 | <ul style="list-style-type: none"> ■ 住宅用火災警報器の設置と維持管理の促進 ■ 啓発キャンペーンの実施 ■ 高齢者等への啓発広報 ■ 住宅用火災警報器相談窓口の設置 ■ こんろ火災防止対策の推進 ■ 放火火災防止対策の推進 ■ 消防団員募集広報 |

| | | |
|----|------------------|---|
| 戸塚 | 働く車展 | <ul style="list-style-type: none"> ■住宅防火等広報 ■消防車両等展示 |
| 栄 | 介護老人保健施設での訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ■通報訓練 ■避難訓練 ■情報伝達訓練 ■消防訓練 |
| 泉 | 防火・防災ポスター展 | 夏休み期間中に小学生を対象に募集したポスター作品展と啓発チラシ等の配布 |
| 瀬谷 | 平成 29 年防火・減災のつどい | <p>テーマ 「みんなで取り組もう 防火・減災！ 大切な命・財産を守るために！！」</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■第一部 防災講演 講師 横浜地方気象台気象予報士 小田桐 昌彰氏 演題「私たちができる防災とは」～局地的大雨から身を守るために～ ■第二部 太鼓演技 学校法人 大谷学園 横浜隼人中学・高等学校 曲目「舟人の賦」「ぶちあわせ」 ■第三部 消防団員による寸劇 女性消防団員による予防救急の寸劇と団員募集広報 ■第四部 防災・減災・予防救急ポスター入賞者表彰式 区長賞、消防署長賞、消防団長賞、火災予防協会会長賞、Seya 防災ネットワーク会長賞、瀬谷区消防出初式実行委員会会長賞 各 1 点 計 6 点表彰 |

平成 30 年春の火災予防運動週間の防火・防災イベント

| 行政区 | 行事等の名称 | 実施概要 |
|--------------------|---|---|
| 横浜 市民防災 センター | 横浜市 消防音楽隊 PRESENTS みんなあつまれ！ うたっておどろろ コンサート | <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市消防音楽隊による演奏 (アンパンマンたいそうや手遊び歌などお子様が歌って踊れるプログラム) ■防災減災について学べる楽しい広報 |
| 鶴見 | 駅頭広報 | <p>春の火災予防運動の前日に駅頭広報を実施することにより、火災予防広報を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■放火防止対策 ■住宅火災原因上位のたばこ、こんろ、火遊び、ストーブ等による出火防止 ■住宅用火災警報器の適切な維持管理 ■住宅用火災警報器の設置促進（消防職員による取付支援） ■住宅防火診断についての広報 ■全国統一防火標語 ■消防団員募集広報 |
| 神奈川 | 防災コンサート 及び 防災・減災フェア | <ul style="list-style-type: none"> ■横浜市消防音楽隊による防災コンサート ■防災・減災フェア <ul style="list-style-type: none"> ・家具の転倒防止器具等の展示 ・消火器具、備蓄品等の展示 ・その他 |
| 西 | 春の火災予防運 「広報キャラバン 隊」 | 区内7公園、2商店街を巡回し、区民に対して火災予防及び住宅用火災警報器の設置・維持管理並びに消防団への入団促進等を広報 |
| 中 | 春の火災予防運動 に伴う 防災イベント | <p>～楽しく学ぶ防火・防災～</p> <ul style="list-style-type: none"> ■消防団車両展示（ミニ防火衣装着体験） ■水消火器による初期消火訓練 ■煙体験 ■心肺蘇生法展示指導 ■起震車による地震体験 ■火災予防（住警器含む）・救急需要対策・消防団 各種広報活動 |
| 南 | みなみ防災 フェスタ！ | <ul style="list-style-type: none"> ■防災講演会 ママ防災士 柳原志保さん 『無理なく楽しむ防災術』 ■防災体験コーナー 消火器体験、地震体験、車両展示など |
| 港南 | 港南台駅前 住宅出火防止重点 広報及び中高層 建物火災における 消防団・消防隊 連携訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ■住宅からの出火防止の徹底を図るため、消防団と連携し広報を実施！ ■中高層建物での火災発生時における消防隊と消防団が連携を強化し、迅速かつ的確な災害対応能力の向上を図ることを目的として実施！ |

| | | |
|------|--|---|
| 保土ヶ谷 | 駅頭広報 | 地域（消防団、家庭防災員）、事業所（火災予防協会）及び行政（消防署）が一体となった火災予防の啓発、広報活動等を実施 |
| 旭 | 駅頭広報 | 駅頭において、区民に対して広報ティッシュを配布、のぼり旗にて火災予防の注意喚起・住宅用火災警報器の設置及び点検の呼びかけを行い、火災発生時の未然防止を広報 |
| 磯子 | 避難訓練及び 広報活動（避難訓練 コンサート） 磯子公会堂と 企業吹奏楽団が 大規模な自主訓練 | コンサート中に地震が発生！！ 公会堂職員が演奏者及び観覧者を安全な場所まで避難させる大規模な訓練を実施 ■住宅火災予防広報を中心としたチラシの配布 |
| 金沢 | 駅頭広報キャンペーン | 春の火災予防運動に先駆け、区内において最も乗降客の多い駅頭で広報啓発活動を実施 ■駅舎利用客に対して「春の火災予防運動」開始の広報 ■住宅用火災警報器の設置及び点検に関するチラシ及び広報啓発物品等の配布 ■消防団員募集 |
| 港北 | 春の消防フェア 2018 ～港北消防署 キャラクター お披露目会～ | 火災予防啓発広報イベント ■子ども防火衣の着装体験 ■火災予防クイズラリー ■港北消防署キャラクターお披露目、及び、等身大パネルの展示 ■ハマくんと一緒に消火器取扱い訓練 |
| 緑 | 駅頭及び街頭広報 | ■駅構内電光掲示板を活用した火災予防広報 ■住宅用火災警報器の展示、設置促進パンフレット配布 ■住宅防火診断パンフレット配布 ■感震ブレイカーの展示 ■Siセンサーこんろ普及促進パンフレット配布 ■火災予防啓発品の配布 ■消防団員の募集 |
| 青葉 | 地域事業所と連携 した洞道火災対応 連携訓練 | 地域防災力の向上と災害発生時における地域事業所との連携強化を図るための洞道火災対応訓練を実施 【訓練想定】変電所内の電気設備から出火した火災により、洞道内で作業中の電力会社職員数人が、濃煙により洞道内に取り残されている。 |
| 都筑 | 大型商業施設 消防総合訓練 | 大規模地震の発生により、火災が発生した想定で、事業所関係者による初期対応訓練と消防隊による災害対応訓練を実施 ■商業施設による初期対応訓練 開店時間内に発生した大規模地震により、フードコートから火災が発生したため自衛消防隊による避難誘導、初期消火及び放水訓練（模擬）等を実施 ■消防隊等による災害対応訓練 ・情報収集、受伝達、災害状況の把握 ・消防隊による消火活動（タンク放水（模擬）） ・消防隊、特別救助隊、はしご消防隊による救助・救出訓練 |

| | | |
|----|--------------------------|---|
| 戸塚 | 防火・防災フェア | <ul style="list-style-type: none"> ■街頭広報 火災予防、消防団募集の広報物配布 ■火災予防ソング「それゆけ！キッズ消防隊」披露イベント 火災予防広報 ■防災ミニコンサート 横浜市消防音楽隊 |
| 栄 | ヘルシー 防災フェア 2018 | <ul style="list-style-type: none"> ■消防車両展示 ■住宅用火災警報器設置促進（煙体験） ■防災指導車による震度体験 ■水消火器による消火訓練 ■子供用防火衣着装 ■栄消防団団員募集 ■横浜市民共済生活協同組合PR ■栄火災予防協会PR ■応急手当・予防救急普及啓発 ■健康チェック ■食の相談コーナー（鎌倉女子大学） |
| 泉 | 防火キャンペーン | <p>区民、来庁者を対象とした出火防止の広報啓発パネルの展示、出火防止チラシ等の配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ■住宅用火災警報器維持管理・定期交換促進広報ビデオの放映 ■S Iセンサーガスコンロの展示 |
| 瀬谷 | 住宅防火対策を 主眼とした 駅頭広報 | <p>駅の広報スペースにおいて、消防職員及び消防団員が火災予防を呼びかけながら、ティッシュ及び予防啓発チラシの配布を実施</p> |